

看護学講座 コミュニティ看護学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	長谷川 美香	1999. 4. 1～
教授	四谷 淳子	2016. 4. 1～
准教授	北出順子	2008. 4. 1～
准教授	川口 めぐみ	2009. 4. 1～
助教	夏梅るい子	2014. 4. 1～
講師	平井 孝治	2017. 4. 1～
講師	青木 未来	2019. 4. 1～
助教	岡本 智子	2020. 4. 1～

2. 研究概要

研究概要

コミュニティ看護学分野は、地域看護学・老年看護学・精神看護学の3領域から構成されている。

地域看護学では、地域で生活する人々および健康課題を持つ人々の心身の健康の維持・向上への支援に貢献できる看護学研究を目指している。

1. 医療的ケア者に関する研究

生活介護事業所における医療的ケア者の受け入れ状況と受け入れに関連する要因を明らかにするため、生活介護事業所を対象に調査を実施し、看護師や特定の医療的ケア実施可能な介護福祉士の配置、自立支援協議会への所属等が関連することを明らかにした。

2. 終末期が在宅療養者の在宅死希望実現に関する研究

訪問看護開始後1ヶ月以内に死亡した終末期が在宅療養者の在宅死希望実現には、訪問看護開始後の入院がないこと、終末期症状出現以降に主家族介護者が希望した療養者の死亡場所が自宅であったことと関連し、訪問看護開始後の入院がないことが強く関連していたことを明らかにした。

3. 妊婦のドメスティックバイオレンスに関する研究

妊娠時に妊婦の結婚前の身体的暴力被害の経験、現在の精神的状态が妊婦のドメスティックバイオレンス被害と関連していることを明らかにした。

4. 低出生体重児の母親に関する研究

低出生体重児の母親の育児不安軽減のための育児支援構築を目的に、母親の育児不安の特徴の明確化に取り組んでいる。

5. 若年性認知症に関する研究

若年性認知症者の就労継続のための支援策構築を目的に、若年性認知症者の就労継続困難の実態と問題の明確化に取り組んでいる。

7. 健康づくり活動における地域住民と保健師の協働関係の解明

地域住民と保健師との協働関係に関して、現代のみならず戦前期に遡り記述化に取り組んでいる。具体的には、健康づくりを題材にした戦前・戦中期における保健師機能の明確化、および福井県美浜町と共に健康づくり活動の企画・推進・評価を行っている。

老年看護学では、高齢者が健やかに生活・療養できる環境の整備のために、工学系分野と連携するなど新しい技術を取り入れながら研究を進めている。

1. 寝たきり高齢者の褥瘡およびスキントアを予防するシーツの開発

スキントア（外傷性創傷）は、高齢者の脆弱化した皮膚に些細な摩擦やずれを起こすことによって発生するといわれている。そこで、シーツやリネンの素材も発生リスクになると考え、これまでの褥瘡研究の成果をもとに、褥瘡だけでなくスキントアを予防するシーツやリネンの開発を地元福井の企業と取り組んでいる。

2. ウレタンフォームマットレスのへたりと褥瘡発生の関係

褥瘡予防用マットレスであるウレタンフォームの劣化が体圧に影響すると言われており、日本褥瘡学会のガイドラインにおいてもマットレスの劣化の確認が推奨されている。これまでの調査において、臀部のへたりがもっとも大きく、ベッドの頭側挙上時に体圧が最も高いこと、へたりに応じて体圧値が上昇する傾向であったことを報告してきた。しかし、マットレスのへたりと褥瘡発生の関係について調査したものはなく、へたりがどれくらいになれば、褥瘡発生に影響するのかは不明である。そのため、マットレスを交換するタイミングに苦慮しているのが現状である。そこで、本研究ではウレタンフォームマットレスのへたり状況と褥瘡発生の関係を検証する。

3. 超音波画像（エコー）を用いた褥瘡の肉芽組織の客観的評価方法の確立と自動判別システムの構築

褥瘡の肉芽組織の評価は、創面を占める良性肉芽の割合で点数化されている。肉芽が良性か不良かの判断は主観的なもので、評価者により評価が異なることがある。そこで本研究では、褥瘡の肉芽組織の病理組織所見、肉眼的所見と触診の所見、超音波診断検査の所見を統合し、エコーによる肉芽組織の客観的評価方法を確立し、自動判別システムを構築することを目指す。

4. ドライスキンおよびスキントアを予防・改善するためのアセスメント・ケア方法の開発

高齢者の大きな健康問題に、ドライスキンとスキントアがある。ドライスキンによって生じるかゆみや発赤、スキントアによる創痛や感染の危険の持続・悪化は高齢者のQOLを著しく脅かす。このドライスキン、スキントアの改善のために、看護師は保湿剤を用いたスキントアを行っている。しかし、臨床現場では改善しきれて1.まず、統合失調症をもつ方の負担軽減とレジリエンスを高めることを目的とした看護支援プログラム介入の効果を唾液ストレスセンサの変化に着目して検証している。また、地域高齢住民の認知機能に関連する要因を分析し、認知症予防のための支援を検討している。加えて、児童・青年期の子どもが示す神経発達症・食行動異常・睡眠の問題の予防に向けた背景因子の調査、病態の解明に向けた血中マーカーの探索をおこない、それらの家族を支援する臨床研究を推進している。

キーワード

看護、医療的ケア者、終末期が在宅療養者、低出生体重児、保健師活動の歴史、豪雨災害、体圧分散、保湿ケア、統合失調症、神経発達症、摂食障害

業績年の進捗状況

特色等

本学の理念との関係

本学の中期計画である【2】地域の教育研究拠点としての機能を強化するため、教育・医療・産業界等との協力関係を戦略的に強化し、地域の教育力向上、健康を守る地域医療の向上を積極的に推進し、地域・社会の持続的発展に貢献するという点を考慮し、研究、教育、地域貢献を行っている。

【地域看護学】

研究では、「生活介護事業所における医療的ケア者の受入」、「終末期が在宅療養者の在宅死希望実現に関する研究」、「住民と国保保健婦が協働した戦後健康づくり活動の過程と展開に関する歴史社会学的研究」（基盤研究（C））、明治期の公衆衛生史研究、医療的ケア児家族に関する研究等を行っている。

これらの教育・研究は、県内地方自治体や関係機関等と協働し、地域特性を鑑みたものである。特に学部教育では、実際に地域に出向き、住民と接することで地域の健康課題を見出す演習を設けるなど、地域により密着した教育を行っている。本学の中期目標にある『地域・社会へ貢献する実践的な研究を推進する』をまさに実践中である。

地域貢献としては、福井県、県内の市町村の各種委員会委員および委員長、専門職業人、地域住民を対象とした研修会講師、DV被害を受けた女性の自助グループの活動支援等に携わっている。

【老年看護学】

高齢者のQOL向上を目標に褥瘡や排泄ケア等の老年症候群について予測、予防のための新たな看護方法論の創出に向けた老年看護学の研究に取り組んでいる。看護学だけでは解決できないと思われる課題を、工学系分野と連携し新しい技術を取り入れた手法を用いて解決を試みている。

【精神看護学】

精神疾患をもつ方の再発予防および地域生活定着のための支援について医療・福祉・保健の専門職との連携や看護職の役割に関する研究・教育を行っている。

3. 研究実績

区分	編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2018～2023年分	2024年分	2018～2023年分	2024年分
和文原著論文	15	1	—	—
英文論文	ファーストオーサー	3	5.093(5.093)	5.7(5.7)
	コレバト ンディング オナー	0	3.405(3.405)	0(0)
	その他	2	30.427(30.427)	3.6(3.6)
	合計	13	35.52(35.52)	9.3(9.3)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

24037

Kawamura Midori, Kawaguchi Megumi, Nakamoto Akiyo, Katayama Miho, Morioka Hiromi: A study of subjective experiences of medication among community-dwelling people with schizophrenia, Journal of Fukui Prefectural University, 61, 41-53, 202411

24038

Takaharu Hirai, Naoko Umeda, Taeko Harada, Akemi Okumura, Chikako Nakayasu, Takayo Ohto-Nakanishi, Kenji J. Tsuchiya, Tomoko Nishimura, Hideo Matsuzaki: Arachidonic acid-derived dihydroxy fatty acids in neonatal cord blood relate symptoms of autism spectrum disorders and social adaptive functioning: Hamamatsu Birth Cohort for Mothers and Children (HBC Study), Psychiatry and Clinical Neurosciences, 78(9), 546-557, 202409, DOI: 10.1111/pcn.13710, #5

24039

Niida Y, Onishi H, Ohama H, Koujimoto A, Mizukami Y, Okamoto T, Ikawa M, Kubota M, Takebe M, Tsuji K, Kawahara C, Inoue T, Hasegawa D, Nakamori Y, Hirobe T, Yamamura O: Individualized Nutritional Management Using Dishcook Improves Nutrition Status Markers in Patients with Intellectual Disability, Journal of Nutritional Science and Vitaminology, 70(4), 352-358, 202408, #0.7

24040

Hata N, Miyajima H, Aoki M, Yotsuya J: Influence of different support surfaces on skin microclimate and functions, Japanese Journal of Pressure Ulcers, 26(2), 137-143, 202407

24041

Miho Katayama, Rituko Aijyo, Kazuyo Kitaoka, Megumi Kawaguchi: How Nursing Students' Perceptions of People with Psychiatric Disabilities Change When Using the Strengths Model During Practicums: A Qualitative Research Study, Nurse Education Today, 138, 106190, 202407, DOI: 10.1016/j.nedt.2024.106190, #3.6

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

24042

Hideaki Masumoto, Tatsuhiro Hasegawa, Atsuharu Horiuchi, Yuta Nakano, Kaisei Wada, Junko Yotsuya: Estimation of Meal Residues Using Foundation Models, Proceedings of the 2024 IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2024), 20241101

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

24043

新井田裕樹, 大西秀典, 水上保孝, 久保田雅史, 此下尚寛, 田中徳治, 竹部万由, 川村晴水, 岡本智子, 柑本明美, 坪内啓正, 前田文江, 木戸周平, 林寛之, 山村修: 地域高齢者のダイナベニアにおける1日の平均歩数の関連, 福井大学医学部研究雑誌, 25, 1-10, 202503, DOI: 10.34463/0002000358

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

24044

北出順子: 明治初年における死因分類の始動とその意義 ―明治4年から16年までの展開―, 佛教大学大学院紀要 社会学研究科篇, 53, 19-36, 202503

24045

加納恭子, 畑菜都希, 青木未来, 四谷淳子: 体圧分散マットレスにおける温度・湿度と皮膚生理機能の評価, 木村看護教育振興財団看護研究収録, 31, 25-33, 202407

24046

北出順子: 協同労働のベストラクティスを求めて, 協同の発見, 378, 44-45, 202406

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

24047

Mika Hasegawa, Hiromi Yonezawa, Junko Kitade, Ruiko Natsuume: Evaluation of domestic violence victimization and the mental state of pregnant women at the time of pregnancy notification, International Conference on Violence and Society ICVS, 20241219

24048

若林未来也, 四谷淳子, 川口めぐみ: 胃がん術後高齢者の退院後早期の生活で抱く思い, 日本看護研究学会第50回学術集会, 20240825

d. 一般講演（ポスター）

24049

Nozomi Uchie, Ami Nakazawa, Masayo Shima, Yumiko Namizaki, Naoko Umeda, Natsuki Hata, Junko Yotsuya, Yurina Wada, Haruka Morotomi, Rena Kato, Kazushi Ikeda, Hiroaki Wagatsuma: Comparison of Eye Gaze between Experienced Midwives and Novices in the Second Stage of Labor, The 28th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference, 韓国 ソウル, 20250213

24050

M. KAWAMURA, M. KATAYAMA, M. KAWAGUCHI, A. NAKAMOTO, H. MORIOKA: Mental health professionals' perspectives on medication use for people with schizophrenia living in the community, 15th International Nursing Conference & 28th East Asian forum of Nursing scholars, 20250213

24051

Megumi Kawaguchi, Kimiko Mizukami, Kanji Ueno, Yuji Tanaka, Masato Higashima: Relationship between loneliness, mental health, and cognitive function in healthy older adults, 15th International Nursing Conference & 28th East Asian forum of Nursing scholars, 20250213

24052

HIROMI MORIOKA, AKIYO NAKAMOTO, MEGUMI KAWAGUCHI, MIHO KATAYAMA, MIDORI KAWAMURA: What Nursing Students Learn about After-death Care after Watching Educational Video Material, 15th International Nursing Conference & 28th East Asian forum of Nursing scholars, 20250213

24053

Takaharu Hirai, Naoko Umeda, Kenji J. Tsuchiya, Hideo Matsuzaki: Prediction of Autistic Symptoms and Functional Impairment by Dihydroxy Fatty Acids Derived from Arachidonic Acid in Cord Blood, NSAR 2024 Annual Meeting, 20240516

24054

Naoko Umeda, Min-Jue Xie, Takaharu Hirai, Kenji J Tsuchiya, Hideo Matsuzaki: Fatty acid in neonatal cord blood and placental function influence birth weight, 28th East Asia Forum of Nursing Scholars, 20250213

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

24055

四谷淳子：褥瘡対策用具の安全・快適な使用に向けて一看護師の立場から、第26回日本褥瘡学会学術集会、20240906

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

24056

常俊千絵、長谷川美香：訪問看護開始後1か月以内に死亡した終末期がん在宅療養者の在宅死希望実現に向けた訪問看護師の支援、第27回日本地域看護学会学術集会、20240630

24057

橋本憲祐、長谷川美香：生活介護事業所における医療的ケア者受け入れの関連要因、第27回日本地域看護学会学術集会、20240630

24058

若林未来也、四谷淳子、川口めぐみ：胃がん術後高齢者の退院後早期の生活で抱く思い、日本看護研究学会第50回学術集会、20240825

d. 一般講演（ポスター）

24059

中川寿美江、多田篤哉、北出順子、丹尾辰紀、高橋和宏、竹野恭平、松井一人：地域包括支援センターとリハビリ専門職が協同した居宅介護支援事業者支援 第1報 全体の企画、第64回全国国保地域医療学会、盛岡市、20241005、第64回全国国保地域医療学会特集号、1092、202503

24060

多田篤哉、中川寿美江、北出順子、丹尾辰紀、高橋和宏、竹野恭平、松井一人：地域包括支援センターとリハビリ専門職が協同した居宅介護支援事業者支援 第2報 具体的支援と評価、第64回全国国保地域医療学会、盛岡市、20241005、第64回全国国保地域医療学会特集号、1094、202503

24061

丹尾辰紀、多田篤哉、北出順子、高橋和宏、竹野恭平、松井一人：利用者の自己管理能力を高める通所介護プログラムの活用と評価、第64回全国国保地域医療学会、盛岡市、20241005、第64回全国国保地域医療学会特集号、1116、202503

24062

柏谷美有紀、四方啓裕、北出順子：A県における「保健事業支援・評価委員会」に提出されたテーマの変遷、第64回全国国保地域医療学会、盛岡市、20241005、第64回全国国保地域医療学会特集号、1143、202503

24063

北出順子、山本英子、柏谷美有紀：三方郡耳村における疾患別罹患状況の特徴 一農村保健衛生実地調査の分析から一、第64回全国国保地域医療学会、盛岡市、20241004、第64回全国国保地域医療学会特集号、1033、202503

24064

山本英子、北出順子：A町介護予防事業の評価、第64回全国国保地域医療学会、盛岡市、20241004、第64回全国国保地域医療学会特集号、1031、202503

24065

川口めぐみ：統合失調症をもつ人の母親への看護支援プログラムの効果検証-2事例のパイロットスタディー、日本看護研究学会第50回学術集会、20240824

24066

森岡広美、川口めぐみ、中本明世、片山美穂、川村みどり：遺された家族と行うエンゼルケア - 看護師の体験から - 、第44回日本看護科学学会学術集会、20241208

24067

片山美穂、相上律子、川口めぐみ：ストレングスモデルは看護学生の精神障害をもつ当事者の捉え方に何を起こすのか？、第44回日本看護科学学会学術集会、20241208

24068

新山真奈美、夏梅るい子：医療的ケア時と家族のニーズに関する文献レビュー、日本教育心理学会第66回総会、20240914

24069

新山真奈美、夏梅るい子：若年性認知症者の就労に関わる相談対応者に関する実態と展望、第13回日本認知症予防学会、20240927

24070

平井孝治、梅田尚子、松崎秀夫：自閉スペクトラム症における胎生期の脂肪酸代謝物の役割、第12回看護理工学会学術集会、20241102

24071

新聞記事から捉えたドメスティック・バイオレンス報道内容の分析、第83回日本公衆衛生学会総会、20241031

24072

岡本智子、加藤真由美：地域在住高齢者の血清アルブミン値とサルコペニアとの関連 - 5ヶ月後の比較 - 、第44回日本看護科学学会学術集会、20241208

24073

柳田昌彦、炭本佑佳、山縣恵美、岡本智子、渡邊裕也、石原一成：一般地域住民の動脈スティフネスとその関連要因-体力、形態及び血圧を指標として、第83回日本公衆衛生学会総会、202410

24074

中島裕也、大西秀典、水上保孝、新井田裕樹、岡本智子、此下尚寛、此下尚寛、田中徳治、久保田雅史、堀秀昭、松永晶子、井川正道、小林康孝、林寛之、山村修：運動介入は要支援・要介護認定リスクを抑制するのか？ - 要支援・要介護リスク評価尺度を用いた前後比較研究、第11回日本サルコペニア・フレイル学会大会、20241102

24075

水上喜美子、川口めぐみ、田中悠二、上野幹二、東間正人：地域在住高齢者の孤独感と社会的要因との関係についての検討、第39回日本日本老年精神医学会、20240712

24076

畑菜都希、四谷淳子、青木未来、和田海成、丹羽昭乃、近藤未菜、岡本智子：臥床時の静止型体圧分散マットレスにおける性能評価の検討、第12回看護理工学会学術集会、20241102

24077

内江希 中沢愛実 嶋雅代 波崎由美子 梅田尚子 畑菜都希 四谷淳子 和田有里菜 諸富遥 古賀嵩大 池田和司 我妻広明：分娩第2期の児頭娩出時における熟練助産師と初学者の視線についての比較。第12回看護理工学会学術集会、分娩第2期の児頭娩出時における熟練助産師と初学者の視線についての比較。20241102

24078

助産学実習前に行うシミュレーション演習とリフレクションに活用できるAugmented Realityアプリの開発と学習効果の検討。第12回看護理工学会学術集会、石川県かほく市。20241102

24079

新井田裕樹、大西秀典、此下尚寛、田中徳治、岡本智子、久保田雅史、池田涼子、竹部万由、辻季野、川村晴水、水上保孝、柑本明美、坪内啓正、前田文江、中島裕也、岸本貴宏、木戸口周平、井川正道、林寛之、山村修：高齢者におけるウエスト下腿周囲径比とFried frailty phenotype questionnaireによるブレフレイル、フレイルとの関連性。第11回日本サルコペニア・フレイル学会大会。20241102

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	統合失調症をもつ人の親への心的外傷軽減のためのビデオ会議看護支援の効果検証	川口 めぐみ	四谷 淳子, 平井 孝治	20240401-20290331	¥780,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	統合失調症をもつ人の家族レジリエンスを高めるための看護支援プログラムの効果検証	川口 めぐみ	平井 孝治, 長谷川 美香	20200401-20250331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	摂食障害の子どもをもつ親に対する簡易版心理教育の効果検証	平井 孝治		20190401-20250331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	自閉スペクトラム症児童の味覚特性が食行動異常に与える影響の検証	平井 孝治		20230401-20280331	¥520,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	マイクロクライメットを考慮した褥瘡予防用体圧分散マットレス選択基準の開発	四谷 淳子	田中 マキ子, 青木 未来, 熊谷 あゆ美	20230401-20260331	¥520,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	地域在住高齢者におけるサルコペニア肥満の超音波検査を用いた新たな診断指標の解明	岡本 智子	四谷 淳子, 萩田 美穂子, 北出 順子	20210401-20250331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	大学生のデートDV予防と援助要請行動促進を一体化した教育プログラムの開発	長谷川 美香	米澤 洋美, 川口 めぐみ, 北出 順子	20200401-20250331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	統合失調症をもつ人の家族レジリエンスを高めるための看護支援プログラムの効果検証	川口 めぐみ	平井 孝治, 長谷川 美香	20200401-20250331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	大学生のデートDV予防と援助要請行動促進を一体化した教育プログラムの開発	長谷川 美香	米澤 洋美, 川口 めぐみ, 北出 順子	20200401-20250331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	地域在住高齢者におけるサルコペニア肥満の超音波検査を用いた新たな診断指標の解明	岡本 智子	四谷 淳子, 萩田 美穂子, 北出 順子	20210401-20250331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	マイクロクライメットを考慮した褥瘡予防用体圧分散マットレス選択基準の開発	四谷 淳子	田中 マキ子, 青木 未来, 熊谷 あゆ美	20230401-20260331	¥520,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	自閉スペクトラム症児童の味覚特性が食行動異常に与える影響の検証	平井 孝治		20230401-20280331	¥520,000

業績一覧

文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	統合失調症をもつ人の親への心的外傷軽減のためのビデオ会議看護支援の効果検証	川口 めぐみ	四谷 淳子, 平井 孝治	20240401-20290331	¥780,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	摂食障害の子どもをもつ親に対する簡易版心理教育の効果検証	平井 孝治		20190401-20250331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	光老化に着目した高齢者ドライスキンの改善のための皮膚タイプ分類の確立	青木 未来		20210401-20260331	¥650,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	光老化に着目した高齢者ドライスキンの改善のための皮膚タイプ分類の確立	青木 未来		20210401-20260331	¥650,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
共同研究	株式会社Medi-LX、株式会社永和システムマネジメント	医療用ビッグデータを活用した看護教育教材システムの開発における研究	四谷 淳子, 青木 未来, 北野 華奈恵, 川口 めぐみ, 清水 誉子, 内江 希, 諏訪 万恵, 大杉 拓矢, 伊藤 幸子, 山下 芳範, 清水 康弘, 田中雅人, 上坂 秀樹	20240305-20250331	¥628,800
共同研究	パラマウントベッド株式会社	要介護高齢者の床ずれ予防を目的とするマットレスの評価や検証、ならびに体圧分散マットレス用シーツの効果確認、マットレスのへたりに関する現場の状況及び計測方法の調査	四谷 淳子, 青木 未来, 畑 菜都希	20240104-20250331	¥1,500,000
共同研究	株式会社Medi-LX、株式会社永和システムマネジメント	医療用ビッグデータを活用した看護教育教材システムの開発における研究	四谷 淳子, 青木 未来, 北野 華奈恵, 川口 めぐみ, 清水 誉子, 内江 希, 諏訪 万恵, 大杉 拓矢, 伊藤 幸子, 山下 芳範, 清水 康弘, 田中雅人, 上坂 秀樹	20240305-20250331	¥628,800
共同研究	イーゲート株式会社	データ科学に基づくウォーキングアシストレギンス着用時の健康増進、未病改善効果の検証	四谷 淳子, 岡本 智子	20241114-20250228	¥500,000
共同研究	株式会社エル・ローズ	快適性を追求した弾性ストッキングの開発に向けた調査研究	四谷 淳子, 青木 未来	20241202-20250131	¥650,000
共同研究	花王株式会社	尿取りパッドを用いた高齢者の皮膚観察研究	四谷 淳子, 青木 未来	20250314-20250930	¥546,000
共同研究	イーゲート株式会社	データ科学に基づくウォーキングアシストレギンス着用時の健康増進、未病改善効果の検証	四谷 淳子, 岡本 智子	20241114-20250228	¥500,000
共同研究	パラマウントベッド株式会社	要介護高齢者の床ずれ予防を目的とするマットレスの評価や検証、ならびに体圧分散マットレス用シーツの効果確認、マットレスのへたりに関する現場の状況及び計測方法の調査	四谷 淳子, 青木 未来, 畑 菜都希	20240104-20250331	¥1,500,000
共同研究	株式会社Medi-LX、株式会社永和システムマネジメント	医療用ビッグデータを活用した看護教育教材システムの開発における研究	四谷 淳子, 青木 未来, 北野 華奈恵, 川口 めぐみ, 清水 誉子, 内江 希, 諏訪 万恵, 大杉 拓矢, 伊藤 幸子, 山下 芳範, 清水 康弘, 田中雅人, 上坂 秀樹	20240305-20250331	¥628,800
共同研究	イーゲート株式会社	データ科学に基づくウォーキングアシストレギンス着用時の健康増進、未病改善効果の検証	四谷 淳子, 岡本 智子	20241114-20250228	¥500,000
共同研究	株式会社エル・ローズ	快適性を追求した弾性ストッキングの開発に向けた調査研究	四谷 淳子, 青木 未来	20241202-20250131	¥650,000
共同研究	花王株式会社	尿取りパッドを用いた高齢者の皮膚観察研究	四谷 淳子, 青木 未来	20250314-20250930	¥546,000
共同研究	株式会社Medi-LX、株式会社永和システムマネジメント	医療用ビッグデータを活用した看護教育教材システムの開発における研究	四谷 淳子, 青木 未来, 北野 華奈恵, 川口 めぐみ, 清水 誉子, 内江 希, 諏訪 万恵, 大杉 拓矢, 伊藤 幸子, 山下 芳範, 清水 康弘, 田中雅人, 上坂 秀樹	20240305-20250331	¥628,800
共同研究	パラマウントベッド株式会社	要介護高齢者の床ずれ予防を目的とするマットレスの評価や検証、ならびに体圧分散マットレス用シーツの効果確認、マットレスのへたりに関する現場の状況及び計測方法の調査	四谷 淳子, 青木 未来, 畑 菜都希	20240104-20250331	¥1,500,000
共同研究	株式会社エル・ローズ	快適性を追求した弾性ストッキングの開発に向けた調査研究	四谷 淳子, 青木 未来	20241202-20250131	¥650,000

業績一覧

共同研究	花王株式会社	尿取りパッドを用いた高齢者の皮膚観察研究	四谷 淳子、青木 未 来	20250314-20250930	¥546,000
------	--------	----------------------	--------------	-------------------	----------

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
受託研究	国立研究開発法人科学技術振興機構	高齢者排便ケアへの活用を目的としたAIエコーシステムの開発	四谷 淳子	20221001-20250331	¥17,212,000
受託研究	国立研究開発法人科学技術振興機構	高齢者排便ケアへの活用を目的としたAIエコーシステムの開発	四谷 淳子	20221001-20250331	¥17,212,000

(B) 奨学寄附金

受入件数	4
受入金額	¥2,800,000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
北陸公衆衛生学会	一般会員	長谷川 美香
日本看護科学学会	一般会員	岡本 智子
日本看護医療学会	一般会員	長谷川 美香
American Public Health Association	一般会員	長谷川 美香
日本家族看護学会	一般会員	長谷川 美香
日本看護科学学会	一般会員	長谷川 美香
日本公衆衛生看護学会	一般会員	長谷川 美香
日本看護研究学会	一般会員	長谷川 美香
INTERNATIONAL COLLABORATION FOR COMMUNITY HEALTH NURSING RESEARCH	一般会員	長谷川 美香
日本在宅ケア学会	一般会員	長谷川 美香
日本地域看護学会	一般会員	長谷川 美香
日本循環器病予防学会	一般会員	北出 順子
日本地域看護学会	一般会員	北出 順子
日本公衆衛生学会	一般会員	北出 順子
日本保健医療社会学会	一般会員	北出 順子
医学史研究会	一般会員	北出 順子
日本高血圧学会	一般会員	北出 順子
日本ケアマネジメント学会	一般会員	北出 順子
日本健康心理学会	一般会員	北出 順子
北陸公衆衛生学会	一般会員	北出 順子
心理教育・家族教室ネットワーク	一般会員	川口 めぐみ
日本精神保健看護学会	一般会員	川口 めぐみ
日本家族看護学会	一般会員	川口 めぐみ
日本看護研究学会	一般会員	川口 めぐみ
日本精神科看護技術協会	一般会員	川口 めぐみ
日本精神障害者リハビリテーション学会	一般会員	川口 めぐみ
医学史研究会	一般会員	夏梅 るい子
日本認知症ケア学会	一般会員	夏梅 るい子
北陸公衆衛生学会	一般会員	夏梅 るい子
日本公衆衛生看護学会	一般会員	夏梅 るい子
日本地域看護学会	一般会員	夏梅 るい子
日本脳科学学会	一般会員	平井 孝治
心理教育・家族教室ネットワーク	一般会員	平井 孝治
日本看護科学学会	一般会員	平井 孝治
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	一般会員	青木 未来
日本看護技術学会	一般会員	青木 未来
看護実践学会	一般会員	青木 未来
国際リンパ浮腫フレームワークジャパン研究協議会	一般会員	青木 未来
日本褥瘡学会	一般会員	青木 未来
日本老年看護学会	一般会員	青木 未来
日本看護科学学会	一般会員	青木 未来
日本創傷治療学会	一般会員	青木 未来
看護理工学会	一般会員	青木 未来
日本認知症ケア学会	一般会員	青木 未来
日本創傷・オストミー・失禁管理学会	一般会員	青木 未来
日本香粧品学会	一般会員	青木 未来
日本サルコペニア・フレイル学会	一般会員	岡本 智子
日本疫学会	一般会員	岡本 智子
看護理工学会	一般会員	岡本 智子
日本老年看護学会	一般会員	岡本 智子
日本循環器病予防学会	一般会員	岡本 智子
日本糖尿病学会	一般会員	岡本 智子
日本職業・災害医学学会	一般会員	長谷川 美香
日本看護実践学会	一般会員	長谷川 美香
看護実践学会	一般会員	四谷 淳子
日本超音波検査学会	一般会員	四谷 淳子
日本看護研究学会	一般会員	四谷 淳子
日本精神保健看護学会	一般会員	平井 孝治
日本褥瘡学会	理事	四谷 淳子
日本看護科学学会	代議員	四谷 淳子
日本褥瘡学会中部地方会	世話人	四谷 淳子
看護理工学会	一般会員	平井 孝治
日本神経化学学会	一般会員	平井 孝治

業績一覧

日本児童青年精神医学会	一般会員	平井 孝治
日本DOHaD学会	一般会員	平井 孝治
日本看護研究学会近畿北陸地方会	世話人	川口 めぐみ

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
一般講演 (口演)	日本看護研究学会第50回学術集会	四谷 淳子
招待・特別講演等	第26回日本褥瘡学会学術集会	四谷 淳子
招待・特別講演等	第26回日本褥瘡学会学術集会	四谷 淳子
シンポジウム等	第12回看護理工学会学術集会	四谷 淳子
一般講演 (ポスター)	第54回日本創傷治療学会	四谷 淳子
一般講演 (口演)	第44回日本看護科学学会学術集会	四谷 淳子
一般講演 (口演)	日本看護研究学会第50回学術集会	四谷 淳子
招待・特別講演等	第26回日本褥瘡学会学術集会	四谷 淳子
招待・特別講演等	第26回日本褥瘡学会学術集会	四谷 淳子
シンポジウム等	第12回看護理工学会学術集会	四谷 淳子
一般講演 (ポスター)	第54回日本創傷治療学会	四谷 淳子
一般講演 (口演)	第44回日本看護科学学会学術集会	四谷 淳子

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長 (主査) ・委員の別	氏名	査読編数
日本看護科学会誌	査読	委員	四谷 淳子	2
International Lymphoedema Framework JAPAN	査読		青木 未来	1
看護理工学会誌	査読	委員	四谷 淳子	6
日本公衆衛生看護学会誌	編集	委員		
日本地域看護学会誌	査読		長谷川美香	1
看護理工学会誌	査読	委員	四谷 淳子	6
International Lymphoedema Framework JAPAN	査読		青木 未来	1
日本看護科学会誌	査読	委員	四谷 淳子	2
American Public Health Annual	査読		長谷川美香	5

(E) その他

24080
24081
24082
24083

自閉スペクトラム症の予測に寄与 福井大 関連する脂質代謝物を同定 (科学新聞), 20240809
子どものASD 臍帯血で予測 福井大・松崎教授に研究 (福井新聞), 20240731
臍帯血中のジヒドロキシ脂肪酸 自閉スペクトラム症特性に影響 福井大研究グループ発表 (日刊県民福井), 20240731
データDV防止向け 専門学校生理解深め (福井新聞), 20240706

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
	美浜町健康福祉課	美浜町地域福祉計画策定委員会委員		20250318-20260331
	社会福祉法人 太陽会	役員 (理事)		20250301-20250531
	福井県健康福祉部健康政策課	福井県国民健康保険審査会委員		20250101-20271231
	滋賀医科大学	調査指導員		20241130-20250131
	第13回日本公衆衛生看護学会学術集会	査読委員		20240913-20240924
	美浜町健康福祉課	美浜町介護保険運営協議会委員		20240819-20270331
	第14回日本公衆衛生看護学会学術集会	企画委員会委員		20240722-20251214
	ふくい女性財団	評議員		20240605-20280630
	福井県後期高齢者医療広域連合	アドバイザー		20240516-20250331
	福井市地域包括ケア推進課	福井市介護予防・生活支援サービス検討会議委員		20240417-20250331
	大野市健康長寿課	認知症初期集中支援チーム検討委員会委員		20240408-20260331
	美浜町住民環境課	美浜町国民健康保険運営協議会委員		20240401-20270331
	福井県健康福祉部健康政策課	福井県国民健康保険運営協議会委員		20240401-20270331
	福井県看護協会	学会委員会委員		20240401-20250331

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
----	----------	----------	----

(B) 国際貢献

業績一覧

国際協力事業

活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
----------	----	--------	----	----	------

(C) その他業績

(D) 特記事項